

## 木製品の保存修理

約2000年の間土の中にあった朝日遺跡の木製品は、出土時の形状を維持できるように保存処理が施されています。しかし、処理から年月が経過しており、劣化した部分や破損した部分は今後の保存に支障をきたす恐れがあります。

愛知県では、国の補助を受けて朝日遺跡出土品の保存修理事業を行っています。

本展示は、昨年度保存修理を終えた木製品の一部を展示しています。



① クリーニング



修理前

修理後



② 接合・樹脂充填



③ 補彩

### 交通案内

(株)東海交通事業城北線「尾張星の宮駅」から…徒歩10分  
 名鉄名古屋本線「新清洲駅」から…徒歩30分  
 JR東海道本線「清洲駅」から…徒歩35分  
 名古屋第二環状自動車道「清洲東IC」から…車で約5分

### 朝日遺跡インターネット博物館

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/>

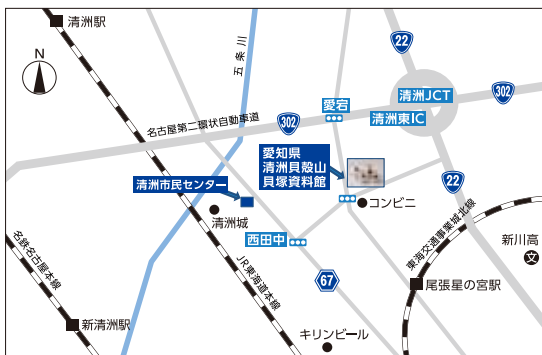
Facebook



あいち朝日遺跡 検索

### 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館

〒452-0932 清須市朝日貝塚1 TEL.052-409-1467  
 開館時間/午前9時30分から午後4時まで  
 休館 日/月・火・水曜日・祝日・年末年始



第31回 国民文化祭・あいち2016

企画展

# 弥生のアグセサリー

平成28年

10月15日(土)~11月20日(日)

愛知県清洲貝殻山貝塚資料館

## アクセサリーのいろいろ

弥生時代の人々も様々な装身具（アクセサリー）を用いていました。ただし、現代のようなファッションとしてではなく、身分を表したり、呪術的な意味合いも強かったようです。

弥生のアクセサリーには、頭、首、腕、腰などを飾るものがあり、材質も玉、動物の骨角牙、貝、金属、ガラスなど、様々なものがみられます。



堅櫛



骨角の髪飾り



玉のペンダント（勾玉・管玉）



牙のペンダント



角の垂飾（腰飾り）



貝の腕輪



## 布を織る

弥生時代には機織りの技術が日本列島にもたらされました。

朝日遺跡では、この機械具の一部と見られる木製品の他、糸を紡ぐための紡錘車、骨製の縫い針など、紡織に関する遺物が出土しており、集落で機織りが行われていたと考えられています。



機織具



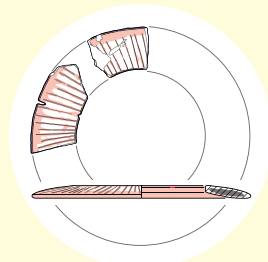
紡錘車と針



銅鏡のペンダント（破鏡）



魔除けの装飾品（巴形銅器）



腕輪を模した土製品

## 土器に埋め込まれた ガラスのピース



土器の口の部分に割れたガラス小玉が埋め込まれていました。たくさんの弥生土器が発掘されているなかで、はじめての事例です。土器の作者は、なぜこのようなことをしたのでしょうか。